

我が愛しのブラウ・ブ
ロ

ないしのかみ

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

ゲームのリプレイ記事です。

凄い昔の代物をサルベージした物なので、お見苦しい所もあるかも知れませんが、ご容赦下さい。

ツクダホビーの戦闘級『ガンダム』SLGが題材です。

内容とはあるMAに乗って活躍したら、みんな居なくなっちゃって話だけなんですけどね（笑）。

目次

我が愛しのブラウ・ブロ

—

1

我が愛しのブラウ・ブロ

これを書く前（多分、五時間位前。※当時ね）のコンベンションで『ティターンズ』をやっていた。

相手はアツシマーやらサイコガンダムMKⅡ、ギャプランに加えて、更に頭に波〇砲を持つZZなどが居た。端から見りや恐怖の戦場である。

始めにユニットを三枚引き、内二枚を使用したバトルロイヤルと言う話だったが、私思うに、みーんなズルしていたんじゃないか？

ちなみに私のユニットは、重装パラス・アテネ（観音様じゃ）、ガブスレイ、及びバイアランである。

まず、Pアテネは直ちに没！（動く火薬庫に誰が乗ります？）。残るはガブスレイとバイアランだが、私は周りのプレイヤーと交渉して、ガブスレイをブラウ・ブロに変えて貰った。

MAN-03、一年戦争時のNT用モビルアーマーである。

プレイしてた人々は、この選択を冷笑しつつ承知した。何せ、寸法は+2（普通のMSは±0が標準。それだけ確認しやすく、かつ命中しやすい）、DCP（ダメージコント

ロールポイント。装甲貫通したら2D6でこの数値以下を出すと、誘爆してしまう)は、
○無しの9やら8だらけの爆弾みたいな機体なのじゃ。

特に可変機種を持ったPLは『大したことない』と思っていたらしい。ただ、パイロットポイント(以後、PPと略)が13とか16とかが出たのが注意を引いただけであつた。

「ふふーんー!」

ほくそ笑む私。彼らはこの機体の真の恐怖に、まだ気が付かなかつたのだ。

第1ターンZZに突撃!! 目標確認成功。

第2ターン、あつさりとZZを撃破(DCPチェック失敗で、胴が誘爆したのさ)。全PLの目の色が変わった。エウーゴの最新鋭、フラッグシップ機がこの骨董品にやられたのだ。

「なんでこんな旧式にやられるんだー!」と叫んでも後の祭り。ブラウ・ブロのビームキャノンの威力を舐めたらあかんぞ。強化型でも無い限り、長距離以外ならZZとて貫通するのじゃ。

続いて第3ターン。ギャプランを視認する。

第4ターン。ZZのPLはブラウ・ブロなんぞにやられたとして周囲の失笑を買っていたが、そいつを笑ってたギャプランのPLの顔色が青ざめる。

「えーと、マイナス14差ね」と自慢げに、彼は必殺の砲撃を放って来たのである。ギャプランのPLは、これでこのポンコツを宇宙の塵に出来ると思っただけだ。

「では回避PPを言ってみよう」

「13だよ」

「13つ?!」

そうなのだ。ブラウ・プロ最大の特徴はパイロットと砲手のPPを、別々に適用出来る事なのだ。

つまり、運ちゃんには避けるのに。ガンナーは撃つのに専念していれば良いのだ。凄まじく凶悪な機体なのである！

「10以下で回避だね。ほら避けた。じゃ、こっちの射撃行くよ。PPは7だから…12差2発。7差1発。10差1発ね」

彼は1発しか避けられなかった…。反撃で全身ずたばろである。

その頃、戦場ではアツシマーとゲルググ（その時は「こんな戦場でお気の毒に」と思っただけ）、そのPLはゲルググ好きで敢えて乗っていたとの事）及び、ハンブラビがお屋敷になつてた。

残るは私と2機のギャプラン。サイコガンダムMKIIにリックディアスとバーザム君。

「ええいつ、殺してやる。殺してやる」と、やけになってブラウ・プロへ突っ込んでくるギャプラン。先程の機体だ。2機存在してるから、仮称ギャプランAとしておこう。

だが、撃つても撃つてもアツカンベ。要するに当たらない。

遂にMSに変形して、格闘で勝負を付けようとした矢先、無情にもビームがコクピットを直撃した。

第7ターン。大宇宙に花咲く、お星様がまた一つ。

残る強敵はサイコガンダムMKII。幸い、他の機体はこちらの戦場に参加する余裕はなさそうで、リックディアスとギャプランB。それにバーザムが三つどもえになって戦っている。

さて、改めて敵を確認。サイコロガンダムとも、お兄ちゃんガンダムとも呼ばれるそれは重装甲の塊で、同じNT用MAでも装甲が紙のブラウ・プロとは大違いだ。

サイズ修正+4と言うから、ブラウ・プロより+2も多い代わり、我が主砲でも至近距離じゃないと抜けない。ついでに拡散ビーム砲やら、五本指ビーム二つに、一度に20本が飛んで来る全身ビーム砲。レフ・ビットにおまけの頭部ビーム砲。

……そりゃ、他の機体がこっちに近寄らない訳だわな。

だが、こいつを攻略しなければならん。んな訳で、私は初めてある兵器を試してみる事にした。

「何ですか？ それは」

サイコガンダム後方1ヘクスに浮かぶのは、箱形の物体。

見よ！ それはブラウ・ブロの秘密兵器、ワイアード・ビームキャノンである。

PPを4も喰うけどこれも凶悪だ。本体から15ヘクス以内ならば、慣性も何も関係なく置けるのである。

では射撃行こうか。「14差」「17差」etc。

サイコガンダムは史実通り（ロザミア機ね）、後ろから頭部をぶち抜かれて吹き飛んだ。

で、死闘が終わったたと見回したら、私の機体以外はみんなマップから逃走してやんの（笑）。

他のPL曰く、「あんな危ないのと戦えるか！」

ちなみの後の会話より。

「あれはハイメガキャノン機と同じく、絶対に禁止機体じゃ、データカードをどつかに隠せ！」

うーむ、良い機体だと思うのだが…旧いし、癖さえ飲み込めただけど。

〈FIN〉